

季刊 小林のぶゆき

第23号

2017年3月発行号

見える
わかる
変わる



横須賀市議会議員 小林伸行の議会活動報告

無所属41歳



横須賀を
前へ

発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索
 住所 野比2-13-18 f t BLOG
 Fax 050-3737-3872
 移動事務所 ☎ 070-6640-3927
 ✉ info@kobayashinobuyuki.com
 Web http://kobayashinobuyuki.com

野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年4月より横須賀市議会議員。マニフェスト大賞でも5年連続で受賞するなど政策派として活躍

第一特集

吉田市政8年間の総括

第二特集

吉田雄人氏が掲げたマニフェスト→

どうしたことなの？ 百条委員会



第一特集 吉田市政、8年間の総括。

本年6月には、市長選挙があります。2期8年間にわたって、市の舵取りを任せてきた吉田雄人市長。その仕事ぶりはどうだったのか？ 市民の代表として監視する立場の議員としてご報告したいと思います。

× 「中学校での給食実施ニーズに応えます」

2期目の代表的公約でしたが、守れませんでした。議会から「完全給食も検討せよ」と注文していたのに「給食もどき弁当」に固執。途中で給食実施に転向しましたが、おかげで導入はかなり遅れてしまいました。あと数年かかります。

× 「保育園の待機児童を解消します」

現時点では未達成。横浜では林市長が就任3年目で実現。川崎では福田市長が就任1年余りで実現。全国ワースト1位・2位だった横浜・川崎でさえ短期間に実現し、市長のやる気と手腕の差を感じます。4月には更にハードルが上がり達成は難しい見込みです。

× 「すべての小学校区に学童保育を整備」

小学校46校中、空白区は現在6校。うち3校が4月に解消見込みですが、依然として3校残り誘致の目途はたちません。民間任せではムリだと指摘されながら代替策を講じなかったのは、怠慢と言われても仕方ありません。

△ 学童クラブの保育料の低減

市内の学童クラブ保育料の高さは日本一レベル。だから預けられない人も多い。保育料低減をうたってはいますが、条件ごとの加算はしても、抜本的対策は無し。これじゃ、いつ近隣他市並みになるのか……



× 「幼児教育を大切にしていきます」

「幼児教育を大切に」どころか、中央こども園との接続を待たずに諏訪幼稚園を廃園しようとし、幼稚園がない地域の大楠幼稚園も廃園しようとして、いずれも結局は見直しへ。後継施設である「こども園」整備も暗礁に乗り上げ、開設の予定は立っていません。

× 「選ばれるまち、横須賀へ」～社会減ストップ

選ばれたかどうか測るモノサシは社会減を食い止めること。市長が自分でそう言ったけれど、この8年間、社会減は続いています。都市イメージ発信事業でメディア露出は増えたものの、イメージばかりで実が伴っていない。結論から言えば「選ばれていない」のです。

結局、なぜ彼は「チェンジ」できないのだろうか？

こうなることを危惧して、私たち議員は異口同音に「子育て・教育に果敢に投資せよ」と、何度も求めてきました。しかし他市と差別化するための投資の決断ができなかった。何かにつけ「財源がない」と言い訳をしながら、一方で事業の見直しやハコモノ再編による財源確保も中途半端だった。その結果、将来につながる子育て・教育への投資が不十分だった。もしくは、あまりにも動きが遅かった。行政経営の経営者としての能力に限界を感じます。

× 「将来世代にツケを残さない財政を」

そして私が最も許せないのは、将来に向けハコモノ30%削減が必要なのに17%で逃げ切る姿勢です。指摘しても「私の能力では難しい」と開き直りの答弁。

みなさんは、吉田市政をどう思いますか？

※イラスト提供：わんぱく http://www.wanpaku.com/



↑百条委員会(吉田市長の不透明な市政運営)に関する調査特別委員会(衆議会中継動画)確認はこちら: <http://smartdiscussvision.me/smart/tenant/yokosuka/WebView/>

結局、どうだったのか？

市長が百条委員会にかけられた、という報道があちこちで流れました。議会が告発したと聞いて、「一体、どうしたことなの？」と疑問に思った方も多いでしょう。

そこで、わかりやすく解説してみたいと思います。

市を会社にたとえると……

会社(市)は、**取締役会(議会)の監督の下で、社長(市長)が執行をする仕組み**です。会社(市)の方針を決める時は、取締役会(議会)でじっくり話し合います。でも、いったん決まった後は、スピーディかつ効率的に実行するほうがいい。色々な人が口を出すと、指揮命令系統が混乱する。だから基本的には権限を社長(市長)に集中させて、トップダウンで執行させます。

これは、会社でも市でも同じでしょう。

権力をまとめて、「信じて任せる」仕組み

つまり、**市長は大変な権力者**です。①予算編成権、②許認可権、③職員人事権の3つの執行権限を手に入れています。そして、議会は大枠を決めますが、実際の中身の部分は市長に一任します。ですから、ある程度は「**信じて任せる**」制度なのです。

伝家の宝刀!? 「百条委員会」

とはいえ、市民代表である議会としては「何でも市長にお任せ」というわけにはいかない。だから、普段から監視し、暴走したら止める制度が色々あります。その一つが地方自治法100条で、かなり強力な調査権が議会に与えられています。それを発動する体制が百条委員会なのです。



証人喚問された吉田市長↓

「いざとなったら、伝家の宝刀を抜くぞ」というこの制度は、市政に緊張感を持たせる意味もあります。

市長に疑惑浮上。ハッキリさせなきゃ

ところが、現市長には「あれ？これは何かおかしいぞ!？」と思うような3つの問題が浮上しました。

- (1)帆船日本丸の招致にあたって、市長と船長の言うことが食い違うぞ！
- (2)職員採用時に、市長に献金してくれた人だから便宜を図ったんじゃないの？
- (3)ポートマーケットのBBQ事業で、手続きの不備を指摘されたら、モミ消しとゴマかしがあったよね？

どの案件も、市の将来を左右するような大きな話ではありません。しかしポイントは「市長を信じて任せる」のが、市の仕組みだということです。**市長を信用できなければ、大きな権限は預けられない**のです。

調査の結果、(1)(3)の件で「市長はどうもウソをついた恐れあり」と判断して議会は告発しました。司法のプロの手を借り、シロカクロカハッキリさせるわけです。

長期政権で、何かカン違いはじめてないか？

市長は「告発には納得がいかない」「告発に反対した議員の良識には評価を」「市民は市議会のあり方も見て」旨の発言をしています。でも、これは傲慢です。

8年間も市長を務めても、市民代表である議会から信頼されなかったわけです。それはなぜだったのか？

「天に唾吐く」と言いますが、何かカン違いしてないか？
みなさんには市長のあり方もよく見て頂きたいです。

編集後記

私は前回の市長選2013の際、最善の選択ではないけれど「よりマシ」論で吉田市長を推しました。「政策で選ぶなら吉田氏だ」と太鼓判も押しました。私のチラシ13号でご覧になった方も多いと思います。

しかし、どんなに政策がマシでも、公約を実行しなければ意味がない。期待しただけに、本当に裏切られた思いです。私自身、政治家なのに政治不信になりそうです。

私は、マニフェストを提唱した、北川正泰早大教授の下に足繁く通って学んできました。そして今回、吉田市政の良かった点は、マニフェストを掲げたので検証可能だったことです。総括した結果、吉田市長ではダメだったとわかったわけですから。

さあ、横須賀の民主主義、再起動です!



応援してください!

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

必ず私、小林伸行が自分で目を通します!



小林のぶゆきの基本政策

見える 誰が何をどう決めてるのか ぜんぜん見えない……。

市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる 難しい説明をされてもよくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。